

【テーマ3】 適切な維持管理と既存ストックの効果的な活用

めざす方向

- 市町村の管理施設も含めた「効率的・効果的な維持管理」や「持続可能な維持管理の仕組みづくり」を推進し、都市基盤施設の長寿命化を目指します。
- 市町村や企業、大学など、多様な主体と連携・協働して、既存のインフラ空間の効率的・効果的な活用を推進し、にぎわいの創出など都市の魅力向上を目指します。

戦略的な維持管理の推進（守る）

| <今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）> | <何をどのような状態にするか（目標）> | <進捗状況（H31.3月末時点）> |
|---|--|--|
| <p>■ 持続可能な維持管理の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①維持管理データベースシステムの着実な構築 ②維持管理に関する新技術の開発支援 ③地域維持管理連携プラットフォームを通じた市町村支援 ④道路法面の点検手法の見直し <p>■ 安定した下水道サービスの持続的提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「経営戦略」(*31)に基づくさらなる収支改善の取組み ②ストックマネジメント計画に基づく、老朽化施設の計画的・効率的な改築更新の推進 | <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>■ 持続可能な維持管理の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①維持管理データベースについて、H31年度からの本格運用に向けた全分野（道路・港湾・海岸・公園・河川）のシステム開発の完了と市町村の参画を推進 ②大学や団体等との連携による新技術の共同研究や実証フィールド提供を実施 ③橋梁点検の地域一括発注の拡大 市町村の設計・工事に関する技術支援の枠組み構築 大学と連携した技術相談や研修等の実施 ④台風第21号による被害を踏まえた点検箇所選定方法及び新技術導入による目視点検手法の見直し <p>■ 安定した下水道サービスの持続的提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ①既存ストック（下水道資源、土地等）活用の推進 広域化及び共同化（処理場・ポンプ場の相互連携・統廃合による事業の効率化）の構想を策定 事業運営の更なる効率化・合理化のため民間活用の導入可能性調査を実施 受益者負担の原則に基づく経費負担の適正化のため全市町村と基本的な合意を形成 ②南大阪湾岸流域下水道中部水みらいセンター監視制御設備など、機械・電気設備の改築更新を着実に推進 | <p>■ 持続可能な維持管理の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①維持管理 DB の全分野の開発が完了。また、14市町村が2019年度からの参画を表明 ②SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の実証実験などへのフィールドを提供(5件) ③一括発注に参画する市町村が26団体から27団体に増加。また大学連携としてメンテナンス講座を実施(4大学) ④危険箇所を確実に把握するため、安定度調査箇所の選定作業を見直し 新技術(UAV※)の活用に関して、道路防災点検要領を改訂[3月]するとともに、UAVを土木事務所に配置 ※無人航空機、ドローン等 <p>■ 安定した下水道サービスの持続的提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ①既存ストックのうち、事業予定地の貸付を実施 事業の広域化・共同化検討会を設置し、市町村と検討中 民間活用について導入可能性調査を実施 経費負担適正化に向けた基本的な考え方について全市町村と検討を重ね、流域下水道協議会(市町村長・企業管理者で構成)で協議を実施 ②中部水みらいセンター監視制御設備工事を発注[8月]。その他H30年度発注予定の機械・電気設備の改築更新工事を発注 |

多様な主体との連携による都市インフラの効率的・効果的な活用（活かす）

| <今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）> | <何をどのような状態にするか（目標）> | <進捗状況（H31.3月末時点）> |
|---|--|---|
| <p>■府営公園の魅力向上について</p> <p>①新たな管理手法による、企業投資環境の改善</p> <p>②大阪府都市公園条例の改正</p> <p>③公園施設設置管理許可制度(*32)の活用による「にぎわい」施設の設置の推進</p> <p>④指定管理者による「にぎわい促進」</p> <p>■道路の無電柱化の推進（再掲）</p> <p>■都市の魅力づくり</p> <p>①竹内街道・横大路(大道)の活性化</p> <p>②クルーズ客船の府営港湾への誘致推進</p> <p>③都市緑化の新たな取組の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共空間を活用した都市緑化の推進 ・民有地の緑化推進 ・グリーンインフラ(*35)の活用検討 | <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>■府営公園の魅力向上について</p> <p>①PMO(*33)等の導入により公園のにぎわい促進を図れる可能性のある公園を絞り込み(H30年度中)、それら公園に対するH31年度プレ公募に向けて、公募条件を設定</p> <p>②にぎわい促進のため、大阪府都市公園条例を改正（H30.9月議会）</p> <p>③浜寺公園において、コンビニエンスストアを設置(設置事業者はH29年度に決定済)</p> <p>④手ぶらで利用できるバーベキュー事業をはじめ、フラワーカーニバル、野外シネマ、リレーマラソンなどの各公園の特徴を生かしたイベントを実施</p> <p>■道路の無電柱化の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府無電柱化推進計画に基づき、大阪港八尾線(八尾市)、堺阪南線(高石市)等の無電柱化事業を着実に推進 <p>大阪府無電柱化地方部会「市町村部会」を開催し、市町村の無電柱化を促進</p> <p>■都市の魅力づくり</p> <p>①H29年度日本遺産(*34)認定を受け、より一層地域魅力の発掘・発信を強化するため、外国人観光客を対象としたHPやパンフレットの作成と、大学、観光協会や観光ボランティア団体等と連携した地域活性化に向けた取組みを推進</p> <p>②H30秋の「ばしふいつくびいなす」の受入成功、H31春の「飛鳥Ⅱ」寄港に向けて受入体制の充実を図るとともに、更なるクルーズ客船の誘致を推進</p> | <p>■府営公園の魅力向上について</p> <p>①PMOをはじめ新たな府営公園の管理運営制度の導入をめざし、2018年8月～10月末までサウンディング型市場調査を実施。調査結果を踏まえて、プレ公募の公募条件を検討中</p> <p>②平成30年9月議会前半において、都市公園条例の改正案を議決</p> <p>③3月8日にオープン</p> <p>④大泉緑地、久宝寺緑地、山田池公園等においては、手ぶらで利用できるバーベキュー事業を開始し、服部緑地においては、フィッシングパークを開催。また、各公園において、フラワーカーニバル、リレーマラソンなどのイベントを実施</p> <p>■道路の無電柱化の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪港八尾線（八尾市）、堺阪南線(高石市)ほか計5路線を着実に事業を推進 <p>大阪府無電柱化地方部会「市町村部会」開催〔5月、1月〕し、国の動向や府の計画、法手続き等の説明や先進的な無電柱化の現場見学会を行い、市町村の取組を支援</p> <p>■都市の魅力づくり</p> <p>①外国人観光客を対象としたHPやパンフレット作成など、魅力発信事業を実施。また、H31年度のウォーキングイベント実施に向け、観光ボランティアと連携し、事業を推進</p> <p>②クルーズ客船の府営港湾への誘致推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ばしふいつくびいなす」の円滑な受入完了。「飛鳥Ⅱ」の寄港に向け地元市等関係者との調整を行い、寄港時の安全管理や乗船客等へのおもてなしの提供等受入体制の充実を図った ・更なる寄港に向け、船社への個別訪問や各地で行われる商談会等へ参加 |

■自動運転導入促進

- ・自動運転導入に向けた取組み

■自転車活用の推進

③都市緑化の新たな取組の検討

- ・公共空間を活用した都市緑化の推進
交差点部や道路予定地などの公共空間において、まとまったみどりを創出するための方策を検討
- ・民有地の緑化推進
環境農林水産部と連携し、インパクトのある緑化を進めるため、新たな誘導方策等の検討
- ・グリーンインフラの活用検討
都市基盤施設のフィールドにおいて、グリーンインフラに関する新しい技術の効果検証や活用方策の検討を、環境農林水産部とともに推進

■自動運転導入促進

- ・自動運転の実証実験に取り組んでいる団体に参画するとともに、民間企業や関係行政機関等と自動運転の開発を促進する体制を構築し、自動運転の導入時の、交通計画やまちづくりなどインフラへの影響や新たな課題を抽出し、対応策等を検討

■自転車活用の推進

- ・自転車活用推進計画策定のための体制を構築し、国の計画策定（H30 夏）を踏まえ、府の計画素案を H30 年度中に作成

③都市緑化の新たな取組の検討

- ・公共空間を活用した都市緑化の推進
民間の寄附や支援により、交差点や河川敷などの公共空間において、みどりを感じる憩いの空間を創出する「みどりの空間づくり」を、2019 年度 4 箇所選定
- ・民有地の緑化推進
みどりの風促進区域内の 5 地区で緑化整備補助等を実施し、高木 133 本植栽
- ・グリーンインフラの活用検討
指定管理者と調整し、久宝寺緑地の樹木管理に併せて資材メーカーの協力を得て、3 月に土壤改良資材の試験工事着手

■自動運転導入促進

- ・内閣府の公募事業に府及び河内長野市が応募し、選定された [8 月]。今後本事業の実施を通じて課題の抽出や必要な対応等を検討するため、府市及び地域団体と民間事業者等で構成する協議会を設置 [11 月] し、事業計画（素案）を策定 [2 月]

■自転車活用の推進

- ・庁内関係部局で構成する大阪府自転車活用推進委員会を設置 [6 月] し、国計画(6/8 閣議決定)を踏まえた府計画素案骨子を作成